

令和3年12月27日

石巻市長 齋藤正美 殿

石巻市男女共同参画推進審議会
会長 熊沢由美



令和2年度における石巻市男女共同参画基本計画の進捗に関する成果に対する
意見（評価）について（答申）

令和3年11月2日付け石地協第124号によって諮問されたこのことについて、本審議会において審議いたしましたので、石巻市男女共同参画推進条例第21条第2項の規定に基づき下記のとおり答申いたします。

記

1 令和2年度取組実績・成果に対する評価

(1) 基本目標(6項目)の取組成果 ⇒ 『概ね妥当』

- 各基本目標に対する評価項目のうち
- | | | |
|----------|-------|-----|
| ① 「推進」 | | 1項目 |
| ② 「やや推進」 | | 2項目 |
| ③ 「現状維持」 | | 3項目 |
| ④ 「後退」 | | 0項目 |

① 「推進」と評価する項目（1項目）

≪基本目標3「働く場における女性の活躍推進に向けた環境の整備」≫

- ・「女性のチカラを活かす企業」認証企業数及び市の男性職員の育児参加休暇取得率が目標を達成していることから「推進」と評価する。
- ・特に、「女性のチカラを活かす企業」認証企業数が大幅に増加しているところは評価に値する。また、市の男性職員の育児参加休暇取得については、目標値を上回っているものの、今後は更に取得しやすい環境の整備に努めていただきたい。

② 「やや推進」と評価する項目（2項目）

≪基本目標1「政策形成及び方針決定の場への女性の参画の推進」≫

- ・市の管理的地位（ポスト補佐含む。）にある職員に占める女性の割合が目標を達成しており、前年度と比較し更に数値が伸びている状況にあるが、審議会・委員会等への女性委員の登用率及び女性人材リスト登録者数が前年度から変化が見られないことから「やや推進」と評価する。
- ・審議会・委員会等への女性委員の登用促進のため、女性人材リスト登録者における登録後の説明や各種委員会へのモニター参加など積極的な活用と周知に努めていただきたい。

≪基本目標4「家庭生活における男女共同参画の実現の促進」≫

- ・放課後児童クラブの実施箇所数と受入定員が目標を達成しており、また、保育施設入所待機児童数については、目標には届かないものの減少に向かっている状況にあるが、その他の項目の数値に変化が見られないことから「やや推進」と評価する。
- ・休日保育については、保育所再編計画に基づき実施可能な施設の開設に努めていただきたい。

③ 「現状維持」と評価する項目（3項目）

《基本目標2「地域・学校における男女共同参画の推進」》

- ・取組は行っているものの、各数値に変化が見られないことから「現状維持」と評価する。
- ・「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合」を推進するためには、特に、学校関係において、父母等が強く認識されるよう発信の仕方を検討するなど取組をより一層努めていただきたい。

《基本目標5「男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援の推進」》

- ・様々な啓発活動などの取組はしているが数値に変化が見られず、人命に関わってくる重要な項目でもあるため、今後も積極的な取組を期待し「現状維持」と評価する。
- ・「DVの内容について正しく理解している人の割合」及び「セクハラ又はDV被害に遭ったときの相談窓口を知っている人の割合」における保育所父母の認知度が半数となっており、市として重く受け止めるべきと考える。特に、保育中の母親等は情報を取得しにくい環境にあることから、直接的に情報を届ける方法を検討していただきたい。
- ・啓発の手法としては、周知機会を多くするべきであることから、人が集うショッピングセンターのトイレなど、多くの人が目にし、気軽にとれるような形でリーフレット又はPRカードを設置するなど、認知度向上に対する取組をより一層努めていただきたい。

《基本目標6「復興・防災における男女共同参画の推進」》

- ・防災士に占める女性の割合は目標値を達成しているが、前年度と比較し減少しており、また、石巻市防災復興推進会議の委員に占める女性の割合等に大きな変化が見られないことから「現状維持」と評価する。
- ・女性委員の登用については、震災の教訓を踏まえ、女性の視点や考え方を取り入れるなど、より積極的に努めていただきたい。

(2) 令和2年度取組実績・成果に対する審議会意見

令和2年度の成果として、6項目の進捗状況を評価したところ、「推進」、「やや推進」が3項目となっているものの、「現状維持」が3項目であり、これまでの取組方法では項目の数値に大きな変化が反映されない結果となっている。手法に創意工夫が必要と考え、全体的な評価として「概ね妥当」と評価した。

2 今後について

「推進」と評価した項目については、概ね、現在の方針で取組を続けることが適切であると思われるが、社会情勢に合わせた見直しを適宜行ってもらいたい。

また、「やや推進」、「現状維持」と評価した項目については、数値に変化が見られない原因を探るとともに、取組を振りかえり、早急に改善をお願いしたい。人命にも関わるものがあることを再認識していただき、社会情勢を見極めながら、適切な取組方法を検討し、実施していただきたい。

